

Mizuho Daily Market Report

2026/3/6

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.25	157.59	+0.53	+1.46
EUR	1.1604	1.1609	▲0.0025	▲0.0188
AUD	0.7033	0.7008	▲0.0067	▲0.0097
SGD	1.2775	1.2805	+0.0053	+0.0165
CNY	6.8962	6.9113	+0.0142	+0.0638
MYR	3.9435	3.9447	+0.0010	+0.0557
THB	31.65	31.60	+0.15	+0.56
IDR	16902	16883	▲2	+128
PHP	58.61	58.61	+0.02	+0.99
INR	91.63	91.60	▲0.55	+0.68
VND	26218	26189	▲13	+116

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.136%	+4.0 bp	+13.2 bp
日本(10年)	2.163%	+4.3 bp	+0.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.841%	+9.1 bp	+15.0 bp
オーストラリア(5年)	4.456%	+5.7 bp	+9.9 bp
シンガポール(5年)	1.582%	+1.0 bp	+1.9 bp
中国(5年)	1.535%	+0.3 bp	▲3.6 bp
マレーシア(5年)	3.343%	+0.0 bp	+1.6 bp
タイ(5年)	1.227%	▲3.5 bp	+9.7 bp
インドネシア(5年)	5.967%	▲1.9 bp	+20.4 bp
フィリピン(5年)	5.676%	▲1.2 bp	+15.3 bp
インド(5年)	6.331%	▲1.4 bp	+2.1 bp
ベトナム(5年)	3.822%	+1.1 bp	+6.8 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	47,954.74	▲1.6%	▲3.1%
N225(日本)	55,278.06	+1.9%	▲5.9%
STOXX50(ユーロ圏)	5,782.89	▲1.5%	▲6.1%
ASX(オーストラリア)	5,586.55	▲1.4%	▲4.0%
FTSTI(シンガポール)	4,846.56	+0.7%	▲2.4%
SSEC(中国)	4,108.57	+0.6%	▲0.9%
SENSEX(インド)	80,015.90	+1.1%	▲2.7%
JKSE(インドネシア)	7,710.54	+1.8%	▲6.4%
KLSE(マレーシア)	1,713.20	+0.9%	▲1.6%
PSE(フィリピン)	6,380.53	+1.2%	▲3.7%
SETI(タイ)	1,417.29	+2.4%	▲7.6%
VNINDEX(ベトナム)	1,808.51	▲0.5%	▲3.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	336.85	+2.8%	+8.7%
金	5,082.30	▲1.1%	▲2.0%
原油(WTI)	81.01	+8.5%	+1.1%
銅	12,857.44	▲1.4%	▲2.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	155.60	—	158.30
EUR/USD	1.1470	—	1.1850
AUD/USD	0.6785	—	0.7280
USD/SGD	1.2560	—	1.2830
USD/CNY	6.8260	—	7.0190
USD/MYR	3.8700	—	4.0030
USD/THB	30.50	—	32.10
USD/IDR	16550	—	17000
USD/PHP	56.10	—	59.90
USD/INR	89.70	—	92.50
USD/VND	25,900	—	26,300

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円丁度付近からオープン。イラン情勢に対する「有事のドル買い」の巻き戻しとみられる調整的なドル売りの流れに、ドル円は一時156円台半ばまで下落。しかしその後は米金利上昇などに連れられて157円台まで値を戻し、結局157円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は後半に小動きとなる中、タイバーツは対ドルで約0.5%下落。昨日タイでは2月CPIが発表されており、前年比および前月比マイナスの伸びを記録した。

欧州時間のドル円は、概ね157円台前半で上下。157円台半ばでNYオープンを迎えた。NY市場のドル円は、NY朝方に発表された米新規失業保険申請件数が予想を下回った事が好感され、157円台後半まで上昇。しかし、その後は中東情勢が依然緊迫した状況にある事が懸念され、157円台前半まで反落。午後は、米金利が高水準で推移する展開を横目に一時157円台後半へ上伸。その後小反落し、157円台半ばでクローズを迎えた。

【金利】

昨日の米10年債利回りは上昇。東京時間朝方は、原油価格の上昇につられる形で米金利も上昇。その後欧州時間にかけては比較的落ち着いた値動きで推移。NY時間に入ると、米新規失業保険申請件数等が発表される中で金利は上昇基調へ。午後は小幅に上下しつつも水準変わらず、米10年債利回りは前営業日比+4.0bp高い4.136%で引けた。

【予想】

本日のドル円はやや上昇圧力が掛かるか。イランではハメネイ師の後継者が定まらず、米国との停戦交渉が進展しない状況が継続。米・イラン戦争の長期化懸念が高まるなか、昨日の原油価格は一段と上昇し本局面での最高値を更新。係る状況下、引き続きヘッドラインに振られる展開が想定されるが、ドルが買われやすい地合いは継続すると見られ。また本日、米国では米2月雇用統計の発表を控えている。強含んだ1月分からの反動減が市場予想の大半となっているが、予想に反し強い結果となった場合にはドル買いの圧力が強まる可能性に注意したい。

【本日の予定】

(アジア) 1月 韓国 国際収支・経常収支
(アジア) 2月 インドネシア 外貨準備高
(アジア) 2月 フィリピン 外貨準備高
(アジア) 2月 ベトナム CPI / 貿易収支
(アジア) 2月 ベトナム 鉱工業生産 / 小売売上高
(アジア) 2月 豪 外貨準備高
(アジア) 2月 韓国 CPI
(欧州) 1月 独 製造業受注
(欧州) 4Q ユーロ圏 GDP
(欧州) 4Q ユーロ圏 雇用(確)
(欧州) 4Q キリヤ GDP / 失業率
(欧州) 4Q 西 INE住宅価格指数
(米国) 1月 消費者信用残高
(米国) 2月 失業率 予想: 4.4% 前回: 4.3%
(米国) 2月 平均時給 予想: 0.3% 前回: 0.4%
(米国) 2月 非農業部門雇用者数変化 予想: 60k 前回: 130k
(米国) ハマック・クラブブランド 連銀総裁講演